神戸旧居留地 ユニバーサルマップ

凡例
病院・クリニック / 公衆電話 / 銀行 / コンビニ / 案内板
シティループバス停 / 交番 / 郵便局 / 駐車場 / ガソリンスタンド

大規模災害時対応
救護コーナー / 情報提供コーナー / 広域避難場所 / 防災行政無線（屋外スピーカー）

山側 / 海側 / 三宮中央通り / 京町筋 / 花時計線 / 浪花町筋 / 北町通 / 江戸町筋 / 仲町通 / 播磨町筋 / 明石町筋 / 鰹川筋 / 元町商店街 / 南京町 / 乙仲通 / 前町通 / 伊藤町筋 / 東町筋 / ハーバーロード / 川崎通 / 元町通1丁目 / 栄町通1丁目 / 海岸通 / 海岸通（国道2号） / 京橋 / メリケン波止場前 / メリケンパーク / 新港突堤

防災スピーカー（元町駅前） / 防災スピーカー

シティループ

花時計 / 神戸市役所 / 1号館 / 2号館 / 東遊園地（広域避難場所）

1 旧居留地38番館
（旧ナショナルシティバンク神戸支店）

■昭和４年（1929）
■鉄骨鉄筋コンクリート造３階建
■設計：ヴォーリズ建築事務所

設計はヴォーリズ事務所のW.E.ハインズ。南側の正面にはイオニア式の円柱を４本並べ、両端の目地を目立たせた石積みで引き締めたアメリカン・ルネサンス様式。

2 ニッケビル

■昭和12年（1937）
■鉄筋コンクリート造６階建
■設計：竹中工務店

コの字型のアメリカンスタイルの建物。１階は御影石、２階以上は乳白色のタイルが貼られていたが、タイルの剥離防止に２階以上はアルミ板で覆われている。

3 あいおいニッセイ同和損保神戸ビル
（旧神戸海上火災保険ビル）

■昭和10年（1935）
■鉄筋コンクリート造４階建
■設計：長谷部竹腰建築事務所

当初から保険会社ビルとして建てられたアメリカンスタイルのビル。１階から３階に届く縦長のアーチ窓はロマネスク調で仕上げられ、美しいプロポーションをもっている。

4 シップ神戸海岸ビル
（旧三井物産神戸支店）

■大正７年（1918）
【改築】平成10年（1998）
■鉄筋鉄骨コンクリート造15階建
■設計：河合浩蔵【改築】竹中工務店

旧海岸ビルは鉄筋コンクリート造４階建で、当時ウィーンの新建築運動であったゼツェッションの影響を強く受けている。阪神・淡路大震災後に改築。

5 商船三井ビル
（旧大阪商船神戸支店）

■大正11年（1922）
■鉄骨鉄筋コンクリート造７階建
■設計：渡辺節建築事務所

海運業界がとりわけ華やかな頃のアメリカン・ルネサンス様式が基本の建物。石積みの外壁でありながら、優美な印象で華やかな建物なのが特徴。近年、耐震改修がされている。

6 旧神戸居留地15番館
（ノザワ）

■明治13年（1880）
■木骨煉瓦造２階建
■設計：不詳

旧居留地内に唯一残る居留地時代に建てられたコロニアルスタイルの商館。日本風の屋根、南側にはベランダも。阪神・淡路大震災で全壊。耐震構造で復元された。国指定重要文化財。

7 神港ビルヂング
（旧川崎汽船本社）

■昭和14年（1939）
■鉄骨鉄筋コンクリート造８階建
■設計：木下建築事務所

外壁は花崗岩が貼られ、南東角のアールデコ調の塔屋が海岸通の景観のアクセントになっている。東側入口は往年を思わせる木製の回転扉がいまも活躍中。

8 神戸市立博物館
（旧横浜正金銀行神戸支店）

■昭和10年（1935）
■鉄筋コンクリート造３階建
■設計：桜井小太郎建築事務所

銀行として建てられたが、内部は昭和57年に博物館として改修。正面に６本のドリア式半円柱が並び、ほかの側面には壁柱を巡らせた古典主義様式の建築。外壁は御影石貼。

9 チャータードビル
（旧チャータード銀行神戸支店）

■昭和13年（1938）
■鉄筋コンクリート造4階建
■設計：J.H.モーガン

正面中央に３本のイオニア式円柱を並べ、３・４階はアチック（屋根階）として下階よりも簡潔な意匠に。デザインの違う東西の庇で躍動感を出している。

10 日本真珠会館

■昭和27年（1952）
■鉄筋コンクリート造4階建/地下1階
■設計：兵庫県営繕課（光安義光）

１階に黒御影石、２階以上に乳白色のタイルを用いて建物全体を軽快に印象付ける。神戸では日本真珠会館とポートタワーが日本のモダニズム建築100選に選出。